

2023 世界ベテラン選手権報告 米国・Daytona Beach Ocean Center 10/11~16

2023年世界ベテラン選手権は、18年ぶりにアメリカのフロリダ州での開催となりました。

参加者のエントリー数は、男子381名（50代:155名、60代:128名、70+:98名）女子261名（50代:113名、60代:82名、70+:66名）で合計642名でした。2022年のクロアチア大会に比べ、エントリー数は約200人減しています。

日本チームの成績は、第3日目の男子エペで50+(50歳代)の片島選手が厳しいEDを切り抜けて、銅メダルを獲得しました。エペ個人は過去男女6個のメダルを獲得していますが50+でのメダル獲得は初めてです。つづいて、第5日目の男子フルーレで、60+の梅沢選手が銅メダル、70+では準決勝で井手選手と山崎選手が対戦し、決勝戦へ進出した山崎選手は惜しくも1点差で銀メダルとなりました。その他、男子フルーレ50+で近藤選手が8位、70+で日下選手が7位入賞し、女子サーブル50+では光井選手が惜しくも5位でしたが、好成績をあげています。

大会最終日の男子フルーレチーム戦は、8カ国が参加しました。日本は個人戦の成績によりトップシードとなり、1回戦プールでは3カ国（カナダ・フランス・イタリア）を撃破し、EDでは英国を破って準決勝へ進出しましたが、準決勝では流れをつかめず、イタリアとの再戦に敗れました。しかし、3位決定戦でオーストラリアに勝利して銅メダルを獲得しました。優勝はフランス、2位はイタリアでした。

日本はエペ・フルーレの個人戦で、銀1名、銅3名を、チーム戦を合わせて計5個のメダルを獲得しました。

大会結果(詳細)<https://www.fencingtimelive.com/tournaments/eventSchedule/7F1B703D5B0D4575A149A27FFC46C2A8#today>

【男子】 個人戦・団体戦成績												
団体戦	種目/カテゴリ	氏名	所属	個人結果	種目/カテゴリ	氏名	所属	個人結果	種目/カテゴリ	氏名	所属	個人結果
10位 (13カ国)	M50 エペ (69名)	☆片島 章徳	神戸クラブ	3位T	M60 エペ (55名)	☆加藤 晴英	Kiri.Jr.フェンシングチーム	49位	M70+ エペ (44名)	☆井手 英一	三田フェンシングクラブ	9位
		窪田 歩	ダウンタウンフェンシングアカデミー	27位		☆眞田 裕司	鎌倉フェンシング協会	22位		☆山崎 豊	東京YMCAフェンシングクラブ	29位
		☆野村 正人	石川クラブ	18位		岩松 敬	東京YMCAフェンシングクラブ	50位		櫻井 寛実	日本フェンシング研究会	20位
		飛田 正俊	神戸クラブ	28位		山田 順治	杉並クラブ	48位		川口 大三	三田フェンシングクラブ	34位
3位 (8カ国)	M50 フルーレ (44名)	☆横田 恵一郎	Kiri.Jr.フェンシングチーム	17位	M60 フルーレ (42名)	☆梅沢 賢一	NEXUS FENCING CLUB	3位T	M70+ フルーレ (31名)	☆日下 謙一	世田谷フェンシングクラブ	7位
		☆近藤 昌義	ダウンタウンフェンシングアカデミー	8位		☆竹田 直紀	東京フェンシングスクール	29位		☆山崎 豊	東京YMCAフェンシングクラブ	2位
		窪田 歩	ダウンタウンフェンシングアカデミー	29位		宮脇 信介	東京フェンシングスクール	25位		井手 英一	三田フェンシングクラブ	3位T
		川本 賢	和東クラブ	11位		渡辺 徹	小平フェンシングクラブ	26位		蛭川 浩一	東京YMCAフェンシングクラブ	12位
5位 (7カ国)	M50 サーブル (42名)	☆菊地 正晃	ダウンタウンフェンシングアカデミー	25位	M60 サーブル (31名)	☆渡辺 徹	小平フェンシングクラブ	24位	M70+ サーブル (23名)	☆山崎 豊	東京YMCAフェンシングクラブ	11位T
		☆横田 恵一郎	Kiri.Jr.フェンシングチーム	23位		☆佐藤 保	八王子フェンシングクラブ	23位		櫻井 寛実	日本フェンシング研究会	20位
		水谷 仁	三田フェンシングクラブ	34位		永井 久史	コスモフェンシングクラブ	20位		三又 英世	鎌倉フェンシング協会	棄権*
		森本 浩治	みなとフェンシングクラブ	29位		飯田 敏彦	飯田敏彦グループ	29位		☆宮坂 武美	目黒クラブ	13位

☆団体戦出場メンバー

*三又選手：当日体調不良のため。

【女子】 個人戦成績												
団体戦	種目/カテゴリ	氏名	所属	個人結果	種目/カテゴリ	氏名	所属	個人結果	種目/カテゴリ	氏名	所属	個人結果
不参加	W50 エペ (48名)	光井 亜也子	ダウンタウンフェンシングアカデミー	15位	W60 エペ (34名)	井口 加奈子	白金クロス	31位	W70+ エペ (28名)	参加者なし		
		嶋田 麻子	NEXUS FENCING CLUB	45位		石黒 かおる	ダウンタウンフェンシングアカデミー	33位				
		守屋 暁子	日本フェンシング研究会	48位								
		富 陽子	日本フェンシング研究会	43位								
不参加	W50 フルーレ (37名)	木下 布美子	長野クラブ	19位	W60 フルーレ (24名)	齋 実希子	東京YMCAフェンシングクラブ	22位	W70+ フルーレ (17名)	参加者なし		
		光井 亜也子	ダウンタウンフェンシングアカデミー	12位		天利 かをる	ダウンタウンフェンシングアカデミー	14位				
		嶋田 麻子	NEXUS FENCING CLUB	29位								
		守屋 暁子	日本フェンシング研究会	36位								
不参加	W50 サーブル (28名)	光井 亜也子	ダウンタウンフェンシングアカデミー	5位	W60 サーブル (24名)	石黒 かおる	ダウンタウンフェンシングアカデミー	21位	W70+ サーブル (21名)	参加者なし		
		嶋田 麻子	NEXUS FENCING CLUB	13位		天利 かをる	ダウンタウンフェンシングアカデミー	15位				
						Derose 京子	ダウンタウンフェンシングアカデミー	9位				

(註：団体戦は各年齢カテゴリ3人×2試合=6試合を行う。30点先取で勝敗を決定。選手交替は1名のみ可。日本女子は不参加)

大会の写真は **【USA Fencing】** のフェイスブックからご覧いただけます

Vet Worlds Photo Gallery

[USA Fencing Facebook page.](#)

動画は Youtube からご覧いただけます。

[World veteran fencing 2023 - YouTube](#)



【世界ベテランフェンシング選手権大会を終えて】

今大会は日本から男子29名、女子10名の選手が参加しました。
うち、初参加の選手が11名となりました。3名の方に初参加の感想をいただきましたのでご紹介します。

世界ベテランフェンシング選手権大会への参加は今回が初めてでしたが、FJEの関係者様や参加選手の皆様に助けて頂き、全日程を無事終了する事が出来ました。ありがとうございました。

団体戦では10位という悔しい結果となりましたが、個人戦では銅メダルを獲得できたので、全体的には良い内容だったと思っています。

この大会は、勝ち負けだけではなく、選手同士が敬意を表し健闘を讃えあい、良いプレーは対戦中であっても褒め称えるなど、温かみと連帯感・仲間意識の強い素敵な大会だと感じました。そんな素敵な大会にTEAM Japanの一員として参加し、皆様から大きな声援を頂きながら共に戦えたこと自体が光栄なことです。表彰台に登って、日の丸の掲揚を見て、一緒に喜んでくれる仲間の笑顔を見られたことが、本当に嬉しく、とても幸せな特別な時間でした。

またこの舞台で日本代表として皆さんと共に、世界を目指して戦い、日本国歌の演奏とともにセンターポールに日本国旗を掲揚できるように頑張りたいと思います。(片島章徳)



フェンシングを始めて1年半足らずで世界大会のピストに立てた事は夢のようでした。予想はしていましたが、海外の選手のレベルの高さに愕然としました。

その中で、表彰台に上がる日本ベテラン勢のフェンシングを目の当たりにし感動で胸が震えた1週間でした。

全く結果が出せませんでした。チームJAPANの一員として、皆様に温かく迎えていただき、世界の選手と剣を交える事が出来た経験は、かけがえのない財産です。また、世界大会への参加に向け、多くの方々のご尽力の上に成り立っていると知り、参加出来た事に改めて感謝しております。

有難うございました。(守屋暁子)

結婚20周年の記念も兼ねて、本大会は夫婦（妻はスタッフ）で参加させていただきました。大会を通して、多くの先輩選手たちに変なお世話になり、ありがとうございました。

試合については、サーブル個人戦、フルーレ個人戦ともプール戦で好成績を上げたにも拘らず、ED戦ではアクシデントに見舞われ、早々に敗れてしまい残念な結果となりました。

最終日のフルーレ団体戦では、選手のみならず応援の皆さんとともに一丸となって戦いました。金メダルこそ逃しましたが、なんとか銅メダルを獲得することが出来ました。ベンチからの、「バントで行け！～ホームランいらねいぞ！～」という声援？が印象的でした！（大技はいらねいから、コツコツ戦えという意味でしょう）

年齢を重ねてもピスト上で激しく動き回る世界のベテラン選手達。試合が終われば、握手をして、肩を抱き合います。みなさん、とても明るい顔でお互いを称え合う素敵なシーンがたくさん見られました。世界ベテランには、フェンシングをこよなく愛し、健康で、お互いをリスペクト出来るコミュニティーが溢れていました。(横田恵一郎)



世界の友人たちとともに



フランス選手と・・・
二人とも何が嬉しいのか？



ボランティアのマイケルさん、深夜到着にもかかわらず、デイトナ空港でのお出迎え とても感謝です



何度も日本に来ているレイノルズさん(オーストラリア)



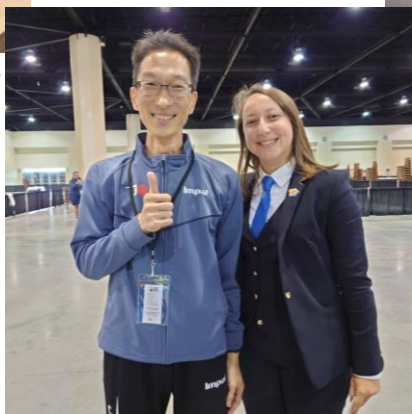
戦いが終わればノーサイド(エペ団体戦)



日本の誇るレジェンド



ビーチに行かずともその気分・・・



審判員の方から 今大会用の日本のバッジを所望されました。ついでに記念撮影



Gala Party

大会第4日競技終了後に、各国選手、大会役員などが一堂に会し、ガラパーティが開催されました。会場ではバンド演奏やダンスなども行われます。また、10回表彰、20回表彰なども行われます。日本からは、真田裕司氏が10回表彰を受賞しました。



ガラパーティでスピーチをする
川口さん

10回表彰の真田さん

結び

18年ぶりにアメリカ開催となった本大会は、全24種目(個人18、団体6)のうち、地元アメリカが13種目で金メダルを獲得。圧倒的な成績を上げました。表彰式では、何度もアメリカ国歌を聞くことになりました。そんな中、最終日の男子フルーレ団体戦と女子エペ団体戦では、ヨーロッパ勢がアメリカのメダルを阻止し、一矢を報いた形となりました。

2024年はドバイでの開催が予定されていますが、ヨーロッパ勢の巻き返し、そして、日本チームも金メダルを含む過去最高の7個のメダル獲得を目標にしたいと思います。

日本のベテラン勢は、50歳代男子では、世界のベテラン選手のレベルアップに追いつかず、12年間メダルの獲得ができませんでした。ここ数年、選手層が充実し、国内予選も激しくなってきました。全体的な底上げができたことにより、最もメダル獲得が難しいと言われるエペ男子50歳代で片島選手が銅メダルを獲得することができたと思います。世界の50歳代のベテランのレベルはどんどん上がってきていますが、日本チームのレベルも上がっていますので臆することなく戦っていきたいと思います。また、60歳代、70歳代は急に強い選手が現れることはありません。日々、心身の健康を維持し、継続することによって目標を達成することができます。なお、2025年からは40歳代のカテゴリーが創設される予定です。

私たちは生涯スポーツとして「いつでも、どこでも、誰でもできる」環境づくりとその実践をテーマに活動していますが、それとともに、世界やアジアの各国友人との友好関係を大切にしています。メダル獲得だけではないベテラン事業の魅力を伝え、30歳代、40歳代、さらにもっと若い皆さんに「フェンシングを継続したい」と思ってもらえるよう活動してまいります。

結びに、2023年世界ベテラン選手権へのご支援、ご協力に感謝し、報告といたします。(Y)